

6月度の景色



たくさんのオカトラノオが花を咲かせました。

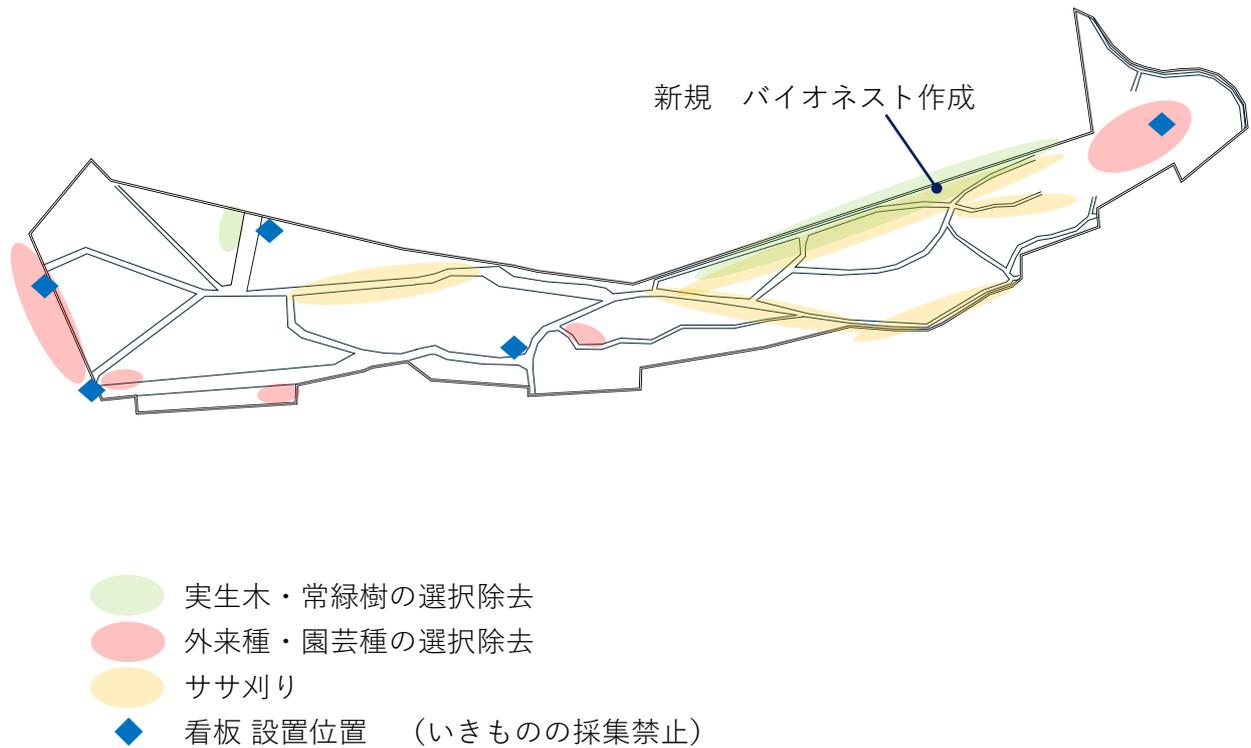
オカトラノオは日当たりのよい草地などに生える多年草で、在来種です。

春の芽出し前に周辺の実生木の伐採、堆積した落ち葉の下で広がっていたつる植物の除去などを実施して環境を整えた結果、昨年よりも大きく数を増やし、50株以上を確認することができました。

業務の実施内容

- ・ 外来種・園芸種の選択除草
- ・ 実生木と常緑樹の選択除去（北側境界の中低木の間引き伐採）
- ・ 看板の設置
- ・ 府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）
- ・ 武蔵台緑地保全ボランティアとの協働
- ・ 植生調査
- ・ 巡回
- ・ 投棄物の回収清掃
- ・ 後継樹の育成

## 作業箇所図



## 昆虫採集禁止 看板の掲出



看板の掲出



昆虫のエサの放置

以前から、昆虫ゼリーやストックングに入れたバナナなど昆虫を誘引するための仕掛けが利用者によって設置され、その後も放置されるといった例が多く見受けられました。

また、昆虫を大量に採集して持ち帰る例もありました。

もともと公園では自然を大切にしよう常設の看板で呼びかけてきましたが、このような状況が続いているため、さらに明確に生き物採集の禁止を告知する看板を掲出しました。

## バイオネストの新規作成



移行させる遊歩道にかかる既存のバイオネスト



代替を近くに新規で作成しました

## 遊歩道脇のササ刈り



作業前



作業後

ササ類が伸びて遊歩道に覆い被さるのを防ぐため、刈り取りを実施しました。

## 見通し確保のための実生木除伐とササ刈り



作業前



作業後

この場所で保全していたヤマユリが切られてしまいました。被害を免れた小さなヤマユリを保全するため、見通しが確保できるよう除伐とササ刈りを実施しました。

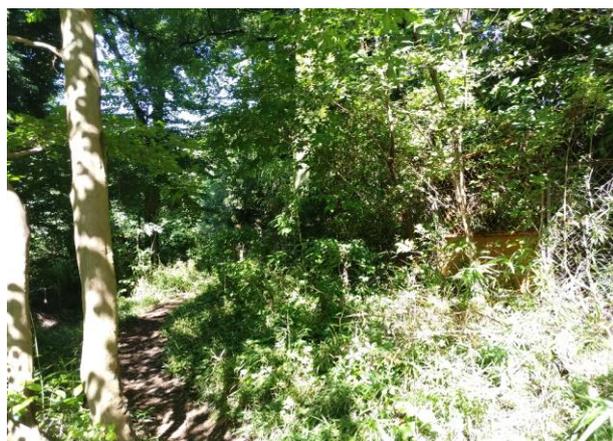
実生木等の選択除去（北側境界の中低木の間引き伐採）



作業前



作業後



作業前



作業後



作業前



作業後

隣地の林ではクズなどのつる植物が繁茂しており、樹木の枝を伝って武蔵台緑地に進入してくる状況です。クズは特に繁殖力が高く、草本や樹木までもを覆いつくして枯らしてしまうことさえあります。

これらを防ぐために、境界沿いの中低木を伐採し、進入の足掛かりとなるようなもののない緩衝帯となる空間を設けました。

## 選択除草



作業前



作業後

指標植物の生育エリアで繁茂していたササ類や実生木を選択的に除去しました。



作業前



作業後

明るい場所ではササ類やつる植物がすぐに伸び、地面が覆いつくされてしまいます。

## 後継樹の育成



コナラの実生木をポットで育成しています

## 投棄物の回収清掃



古いタイヤと刈り込んだキャラボクの枝葉

## 市民協働



調査風景



ヒヨドリバナ 蕾

### 府中市環境調査員会議との協働

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。今月はオカトラノオやヒヨドリバナについて情報提供をしました。

### 府中市環境調査員会議との協働 定例会

2か月に1回開催される定例会に参加し、意見交換を行いました。手入れをしている側として、植物や動物の生育状況について情報提供しました。調査委員からは、下層のササ類が生い茂り、草本が姿を消してしまうのではないかと心配する声が上がりましたが、ササ類の刈り取りはこの先の時期に実施する予定と説明しました。



ヤマユリに絡んだつる植物を取り除きます



やぶに埋もれかけたヒヨドリバナ

### 武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。今月はヤマユリやヒヨドリバナの周囲で繁茂するササやつる植物などの刈り取りを実施しました。

## 植生調査

こまめに観察・記録をし、毎月1回の自然環境調査では追いきれない部分を補っています



ドクダミ 白い総苞片が八重状になった個体



ヒメコウゾの赤い実が目を引きます



フジカンゾウ 開花



シオデ 開花



ナワシロイチゴ 果実



緑地内で見かけた動物



ノコギリクワガタの一種



コクワガタの一種



アオダイショウ



クサギカメムシ 幼虫



ミシシippアカミミガメ  
条件付き特定外来生物



オオミズアオ 幼虫 (ガの一種)